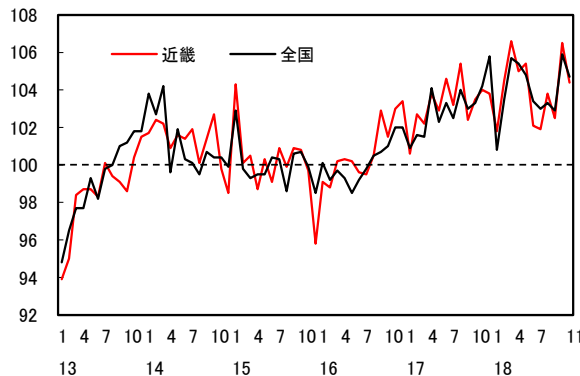


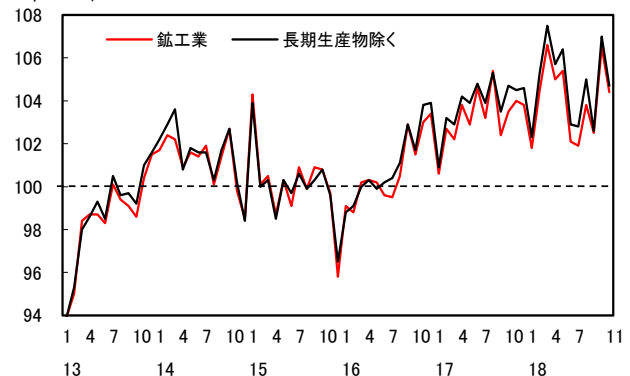
## 関西の景気トピックス【鉱工業指数（18年11月）】

- 18年11月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の確報データによると、生産（季節調整値）は2か月ぶりの減少となった。業種別には、電子部品・デバイスのほか汎用機械の減少が目立つ。蒸気タービンなどの長期生産物を除いた動きも、2か月ぶりの減少となっている。
- 在庫循環の動きをみると、前月は、旺盛な需要を見越して積極的に在庫を積み上げる「在庫積み増し局面」であったが、11月は需要が生産量を上回る「意図せざる在庫減少局面」に転じている。
- 生産全体を「電機・電子部品」と「その他の業種」に分けると、電機・電子部品の趨勢的な鈍化傾向が目立っている。スマホ需要の減少による影響に加え、米中貿易問題による影響が電子部品などを中心に顕在化している状況であり、今後の推移が注目される。

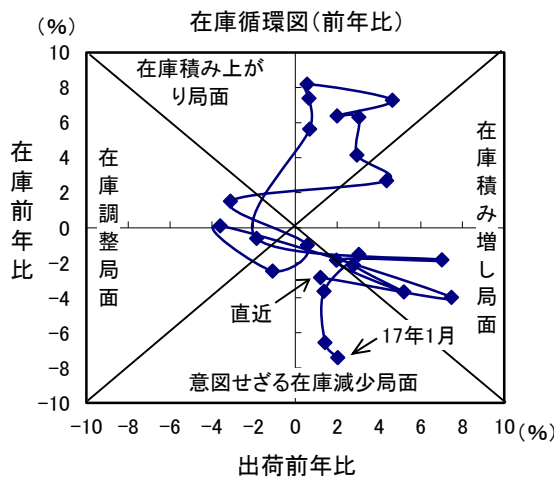
(H27年=100) 鉱工業生産指数の推移(季節調整値)



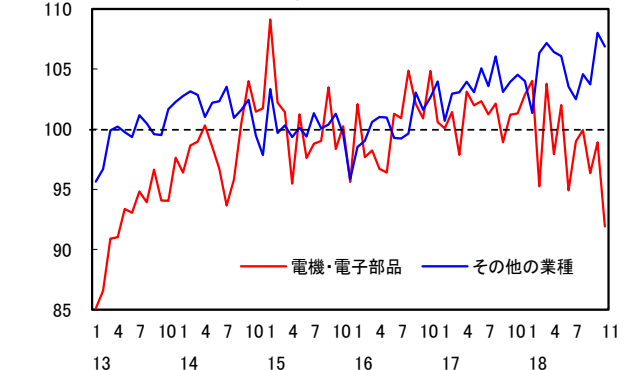
(H27年=100) 【関西】長期生産物を除いた生産指数(季節調整値)



(出所)経済産業省



(H27年=100) 【関西】電機・電子部品および、その他の業種の推移(季節調整値・推計)



(出所)経済産業省統計をもとに、りそな総研作成  
 ※電機・電子部品・・・電子部品・デバイス工業、電気機械工業、情報通信機械工業の加重平均  
 ※その他の業種・・・上記3業種を除いたすべての業種

※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。